

都市再生整備計画(第3回変更)

むろさかつ
牟呂坂津地区

あいち とよはし
愛知県 豊橋市

平成22年3月

都市再生整備計画の目標及び計画期間

都道府県名	愛知県	市町村名	豊橋市	地区名	牟呂坂津地区	面積	27 ha
計画期間	平成 18 年度 ~ 平成 27 年度	交付期間	平成 18 年度 ~ 平成 22 年度				

目標 歴史を感じながら、安心して住み続けられるまちづくり ①安心・快適に暮らせる生活基盤づくり ②健康で安心して暮らせる高齢者の生きがい拠点づくり ③子供から高齢者までだれもが安心して歩ける歩行者空間づくり
--

目標設定の根拠 まちづくりの経緯及び現況 <p>・当地区は、JR豊橋駅から西へ約2kmにあり、都心部と臨海部とを結ぶ軸線上に位置し、今後の都市発展の方向性を定める上で重要な地区である。近隣にある市民病院により地区内の通過交通量が増加しており、地域性を考慮した隣接市街地との一体的な整備を図ることにより、都市基盤需要にも応え、適正な都市発展が見込まれるものである。</p> <p>・古墳や貝塚がある当地区には縄文時代から人が住み着いており、街路ばかりでなく地区中央を縦断する県道も狭小であるにもかかわらず、通過交通量が増加し、交通安全上や防災上の観点から問題がある。</p> <p>・隣接する牟呂地区は、昭和54年度～平成17年度に土地区画整理事業が施行され、市街地が整備されている。</p> <p>・平成8年、当地区において土地区画整理事業の話が持ち上がり、坂津のまちを考える会から土地区画整理事業実施の要望書が提出され、土地区画整理準備会が発足した。そして、平成13年度から土地区画整理事業を実施している。</p> <p>・市域を、東西南北の4地域に区分し、平成4年、平成7年、平成16年に、それぞれ東部、南部、北部に地域福祉センターを開設したが、当地区を含む西部地域においては、既設の老人福祉施設は老朽化しているため、新たに西部地域福祉センターの開設を目指している。</p>
--

課題 <p>○細街路が多く、交通安全上や防災上の問題がある。 ○本市において福祉活動の拠点となる地域福祉センターは、東西南北の4地域の内、西部地域の整備が遅れている。</p>
--

将来ビジョン(中長期) <p>本市では、無計画な市街地形成や土地利用の混乱を防ぎ、地震、火災、水害等に対する都市防災を進めるため、避難幹線となる都市計画道路や避難地となる都市計画公園を整備する。また、木造家屋密集地や道路などの都市基盤が未整備な地区については、土地区画整理事業などの市街地整備を進める。</p>

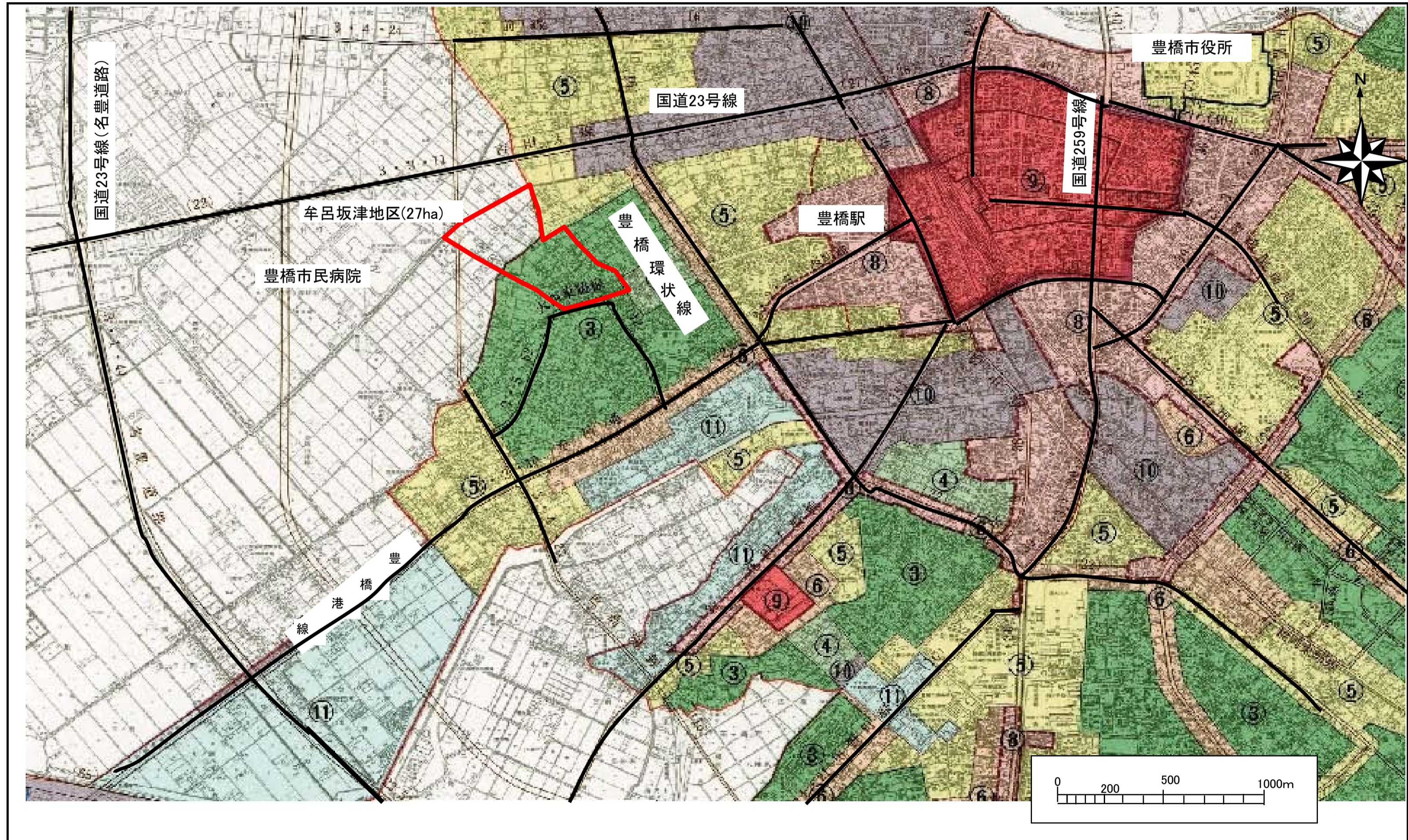
目標を定量化する指標							
指 標	単 位	定 義	目標と指標及び目標値の関連性	従前値	基準年度	目標値	目標年度
西部地域福祉センター(仮称)利用者数	人/日	西部地域福祉センター(仮称)の1日当り利用者数	地域福祉活動の核施設を整備し、活用することで、高齢者の生きがいの場とする。	156	H16	186	H22
歩道整備率	%	地区内の歩道付き道路の整備率	車道と分離したバリアフリー化した歩道を整備することで、誰もが安心して歩ける歩行者空間を確保する。	2	H17	15	H22
消防活動困難区域率	%	地区内の消防活動困難区域面積/地区内総面積	消防・救急活動や災害時の避難に支障となる狭隘道路を解消し、安心・快適な生活基盤づくりを推進する。	26	H17	17	H22

都市再生整備計画の整備方針等

計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>方針1 安心・快適に暮らせる生活基盤づくり 土地区画整理事業により、公共施設の整備改善、及び宅地の利用増進を図り、もって居住環境の整備を推進する。 消防・救急活動や、災害時の避難に支障となる狭隘道路を解消し、公共空間を増加させることにより防災性や安全性を高め、安心・快適な生活基盤づくりを推進する。</p>	<p>牟呂坂津土地区画整理事業(基幹事業:都市再生) 牟呂内田公園整備事業(基幹事業) 牟呂坂津土地区画整理事業(関連事業:特会)</p>
<p>方針2 健康で安心して暮らせる高齢者の生きがいづくり拠点づくり 地域福祉活動と高齢者の生きがいづくりの拠点施設として、西部地域に福祉センターを設置する。</p>	<p>西部地域福祉センター(仮称)整備事業(地域交流センター)(基幹事業) 牟呂内田公園整備事業(基幹事業) 西部地域福祉センター(仮称)整備事業(提案事業)</p>
<p>方針3 子供から高齢者までだれもが安心して歩ける歩行空間づくり 地域交通の利便性を図り、子供や高齢者にとって歩きやすい歩行者空間の確保を図る。</p>	<p>自転車道等設置事業(基幹事業) 牟呂内田公園整備事業(基幹事業)</p>
<p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 良好な住環境の創造 <ul style="list-style-type: none"> ・電柱を民地に入れることにより、公共空間を広くとる。 ・生垣を奨励する。 ○ 歴史的財産の継承 <ul style="list-style-type: none"> ・縄文時代から人が住み着いた当地区には、埴輪が出土した三ツ山古墳など貴重な歴史的財産がある。 	

都市再生整備計画の区域

<p>牟呂坂津地区(愛知県豊橋市)</p>	<p>面積</p>	<p>27 ha</p>	<p>区域 牟呂町字境松、字三ツ山、字外神、字坂津及び字若宮の全部 牟呂町字一本木、字八王子、字内田 新栄町字牟呂下、字一本木、小向町字内田及び牟呂水神町の一部</p>
-----------------------	-----------	--------------	---



牟呂坂津地区(愛知県豊橋市) 整備方針概要図

目標	歴史を感じながら、安心して住み続けられるまちづくり	代表的な 指標	地域福祉センター利用者数 (人/日)	156	(H16年度)	→	186	(H22年度)
	①安心・快適に暮らせる生活基盤づくり。		歩道整備率 (%)	2	(H17年度)	→	15	(H22年度)
	②健康で安心して暮らせる高齢者の生きがい拠点づくり。		消防活動困難区域率 (%)	26	(H17年度)	→	17	(H22年度)
	③子供から高齢者までだれもが安心して歩ける歩行者空間づくり。							

